

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

- 1.カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- 2.本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

- 1.返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
- 2.図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

- 1.図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
- 2.インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

- 1.予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- 2.パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。 ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454
<https://www.ehimetosyokan.jp>

★開館時間★(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日)9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

★休館日★ 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末)、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日)

携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>
スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol.67 2020.10



★YAコーナー展示★10月～11月

目指すゴールは10年後
～もっと知りたいSDGs～



★新刊案内★

- ☆『旅が好きだ!』河出書房新社／編、角田 光代ほか／著 河出書房新社
- ☆『あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります。』吉田 尚記／著 河出書房新社
- ☆『「さみしさ」の力』榎本 博明／著 筑摩書房
- ☆『博士の愛したジミな昆虫』金子 修治ほか／編著 岩波書店
- ☆『サンジの満腹ごはん』SANJI／著 集英社
- ☆『ギフト、ぼくの場合』今井 恭子／作 小学館
- ☆『無限の中心で』まはら 三桃／著 講談社
- ☆『夢をかなえるソウ 4』水野 敬也／著 文響社
- ☆『身のある話と、歯に詰まるワタシ』尾崎 世界観／著 朝日新聞出版
- ☆『わたしの全てのわたしたち』サラ・クロッサン／著 最果 タヒ、金原 瑞人／訳 ハーパーコリンズ・ジャパン



目指すゴールは10年後 ～もっと知りたいSDGs～

2020. 9. 26～11. 26

『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』

くさばよしみ／編 汐文社 2015



「人生を意味あるものにするかどうかは きみ次第だ」
元ウルグアイ大統領のホセ・ムヒカ氏が大切にしてきたものとは？ 波乱万丈の人生を送り、今は家族とともに質素で穏やかに暮らす彼から、若い人たちに贈るメッセージ。

全ての人々が安定して暮らし続けられる世界にするために、2030年までの達成を目指す17の目標が「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」です。まずは「知る」ことから始めてみませんか？

『森をつくる』

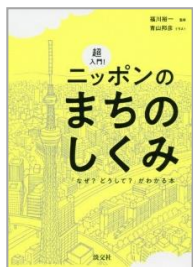
C・W・ニコル／著 講談社 2013



「森は未来だ」
日本の自然や人を愛し、日本人になったニコルさん。森というすばらしい宝物を大切に守り伝えるために、私たちができることを考えてみませんか？

『超入門！ニッポンのまちのしくみ』

福川 裕一／監修 青山 邦彦／イラスト 淡交社 2019



「町がこういうかたちになっているのはどうして？」
よく見ると、町の中には不思議がいっぱい。素朴な疑問に「あるある」、楽しくわかりやすい答えに「ふむふむ」。いつのまにか都市計画や過疎・過密の問題にも詳しくなれる1冊です。

『Start Now！はじめて考える地球のもんだい』

チェルシー・クリントン／著 西田 佳子／訳
潮出版社 2019



「地球を大切にするにはどうすればいい？」
まずは小さな一歩から。気候変動、絶滅危惧種、健康など、身近な問題から地球規模の課題まで、わかりやすく解説します。未来のために今すぐ始められるヒントが満載です。

『となりの難民』

織田 朝日／著 旬報社 2019



「『難民』のこと、どのくらい知っている？」
理由があって、生まれた国を離れて日本に来た人。その子どもとして日本で生まれ育った人。国際交流が進む社会の中、すぐそばにある現実をあなたは知っていましたか？

他に、『人工知能と友だちになれる？』、『危機の現場に立つ』、『地球温暖化は解決できるのか』、『社会格差はどこから？』などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。
アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)
★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。